

平成 29 年度 NBC 冠講座「起業と事業創造」(2年生) 開講報告

文京学院大学 2018.2.7

本学では社団法人東京ニュービジネス協議会(NBC)との包括提携に基づく共同事業推進の一環として、科目の共同運営を行っています。平成29年度は、2年生対象の「起業と事業創造」を後期月曜日の3限に開講し、社会で活躍する本学卒業生、NBC等に所属する新興企業の経営者を特別講師としてお招きし、起業に関する特別講義を行っていただきました。

I. 概要および講義の様子

①	9月18日	オリエンテーション、
②	9月25日	★履修意識調査(受講前)によるアンケート実施 講義:「起業家の基本特性」「起業活動の現状」
③	10月2日	☆課題レポートの書き方について 講義:「起業活動と有望市場」
④	10月9日	講義:「起業の領域(ニューサービス産業とニッチ市場)」
⑤	10月16日	◎和から株式会社 代表取締役社長 堀口 智之氏 講義テーマ『数学教育で起業する』受講生:88名
⑥	10月30日	講義:「お金の観点から見た事業展開」「株式公開(IPO)」
⑦	11月6日	◎La Plume 「ラ・ブリュム 花のアトリエ」主宰者 大類 優子氏 講義テーマ『パリでフラワービジネスを開業する』受講生:91名
⑧	11月13日	講義:「利益思考と利益志向」
⑨	11月20日	講義:「お金の観点から見た事業展開」
⑩	11月27日	◎株式会社JTBコミュニケーションデザイン 常務取締役 大塚 雅樹氏 講義テーマ『オリンピックとニューサービスのビジネスモデル』受講生:92名
⑪	12月4日	講義:「資金調達と株式公開(IPO)」「ベンチャー企業の成長と組織づくり」
⑫	12月11日	◎アートグリーン株式会社 代表取締役 田中 豊氏 講義テーマ『起業と事業創造、そして株式公開』受講生:83名
⑬	12月18日	★履修意識調査(受講後)によるアンケート実施、特別講義感想アンケート実施 講義:「ビジネスプランの作成」「出口戦略」
⑭	1月15日	講義:①「ビジネスプランの作成②」「ビジネスモデルの論理」
⑮	1月22日	テスト ◎エイキュー・トラベル株式会社 代表取締役 八十島 亜由子氏

講義の様子



10月16日 和から株式会社 代表取締役 堀口智之氏 講義テーマ『数学教育で起業する』

和からは、社会人向けの数学塾・統計塾を運営している企業です。工学・ファイナンスはもちろん、転職・昇格におけるSPIや、仕事における分析・管理、論文のための統計学など、身近に数学が必要な社会人の学び直しの場を提供しています。講義では、ご自身が起業に至るまでの経緯、そしてなぜこのビジネスで起業できたのかを中心にお話いただきました。特に学生に熱く語ってくださったのは、「好きを活かして生きる」、そしてビジネスにおいてとても重要なのは、素晴らしいビジネスモデルを作るのではなく、「お客様がいること」、つまり市場ニーズを発掘し、安定的な顧客を確保することでした。YouTubeなどの無料のコンテンツとは違い、教えたことを教えるのではなく、顧客が知りたいことをピンポイントで教える数学教室。2011年に起業したばかりということもあり、学生からは「創業当初とにかく大変だったと思うけれど、どんなことから手をつけたのか?」「どんなことをしたら軌道に乗ったのか?」等といった起業そのものに関する質問や、経営が軌道に乗ってからの様々なイベントや新教室開講についての戦略ポイント、近年の経営に関することなど様々な質問が繰り返されました。



11月6日 La Plume 「ラ・ブリュム 花のアトリエ」主宰者 大類優子氏

講義テーマ『パリでフラワービジネスを開業する』

大類氏は、櫻澤ゼミに所属していた、本学経営学部の卒業生です。大学卒業後一般企業に就職しましたが、趣味で続けていたフラワーアレンジメントを仕事にしようと一念発起。国内で様々な花の仕事に携わりながら、「ニューヨークスタイル」のフラワーアレンジメントを学び、2010年に渡仏。パリのフロリストにて「パリスタイル」を学び、2015年にパリでLa Plume 「ラ・ブリュム 花のアトリエ」を立ち上げました。講義では自らの起業体験を中心に語っていただきました。「当初は起業、ましてや海外で起業するなんて考えてもいなかった。ビジネスチャンスを見つけたので起業したというよりも、フランスの生活を続けるにつれて、日本とは違う文化に触れ、自分の幸せや生き方そのものを見直すなかで、これまでのすべての経験から、自分はどのような仕事、働き方がしたいのかという答えを見つけることができました。」と語る大類さん。学生からは「他店との競争においてどのような差別化をしているのか?」「他店より安くしたりしてるのか?」「日本人のフロリストとして技術的にはどうだったのか?」という質問がでました。「人と同じことをしてしまったらお客様が何を基準に私を選ぶのか」ところが疑問だった。当初は日本人をターゲットにするつもりだったが、テロの影響もあって日本人観光客が減少し、国籍を問わず仕事をすることにした。これまでの日本での経験を通じて培ってきたことは技術的にも十分通用することが分かった。幸いなことに、現地のブライダルのデコレーターとパートナーシップを組むことができ、なかなか日本人のフロリストが入り込めないフランス人のブライダル市場にも参入できるようになっていったんです。」パリに渡って7年、差別や言葉の壁を乗り越えながら異国の地で自分を信じてやりたいことをやりきる先輩の姿は学生に大きな刺激を与えたようでした。



11月27日 株式会社JTBコミュニケーションデザイン 常務取締役 大塚雅樹氏

講義テーマ『オリンピックとニューサービスのビジネスモデル』

大塚氏は20代で株式会社JTB 法人東京の社内公募制度を利用してJTBモチベーションを社内ベンチャーとして立ち上げ、3年で単年度黒字達成、5年で累損解消、40代になって代表取締役社長に就任後、JTB 法人東京の取締役を経て、現在はJTBコミュニケーションデザインの常務取締役として、新たなビジネスモデル作りに取り組んでいます。大塚氏は本講義には2度目のご登壇となり、前回はJTBモチベーションを社内ベンチャーとして立ち上げた当時のことを語っていただきましたが、今回はJTBグループの法人事業改革を交えて、JTBコミュニケーションデザインの「専門性の強化」と「総合力の発揮」を実現する模倣困難性の高いビジネスモデルについてお話いただきました。起業を目指す学生に向けて、経営者の視点から、「企業内起業のメリット」、「会社はどんな人材をもとめているのか?」、そして組織に埋れないためには目標を持ち、時間に対する意識を高めて瞬間を大切に過ごすことの大切さ、「成功の反対は失敗ではなく、何もしないことだ。」と熱く語っていただきました。



12月11日 アートグリーン株式会社 代表取締役 田中豊氏

講義テーマ『起業と事業創造、そして株式公開』

アートグリーン株式会社は、法人向け贈答用胡蝶蘭の生産及び卸売事業をメインに、異業種からフラワービジネスへ参入する際の支援をする総合園芸コンサルタントなどを行っている会社です。学生時代から「25歳になったら起業しよう」と決めていた田中氏は、大学卒業後にリゾート開発会社に就職、多くの上場企業の役員との会話から、園芸を趣味としている人が多いことに気づき、起業に向けてのビジネスモデル構想をふくらませ、1991年にアートグリーン株式会社を創業されました。1年前に名古屋証券取引所セントレックス市場へ新規上場した企業です。田中社長にはこれもでも数回ご登壇いただいております。かつては上場を目指している創業期のお話、そして昨年にはまさに上場時のお話をいただきました。今回は、実際に上場したあとの資金調達や、上場のメリット、デメリット、そして今後の抱負について語っていただきました。田中社長は、「絶対に自分が描いた夢以上に大きなことは成し遂げられない。だから、大きな夢を持つこと。そして夢をかなえるには、まずは始めること。そして叶うまでやり続けること。」と成功の秘訣を熱く語って下さいました。



1月22日 エイキュー・トラベル株式会社 代表取締役 八十島 亜由子氏

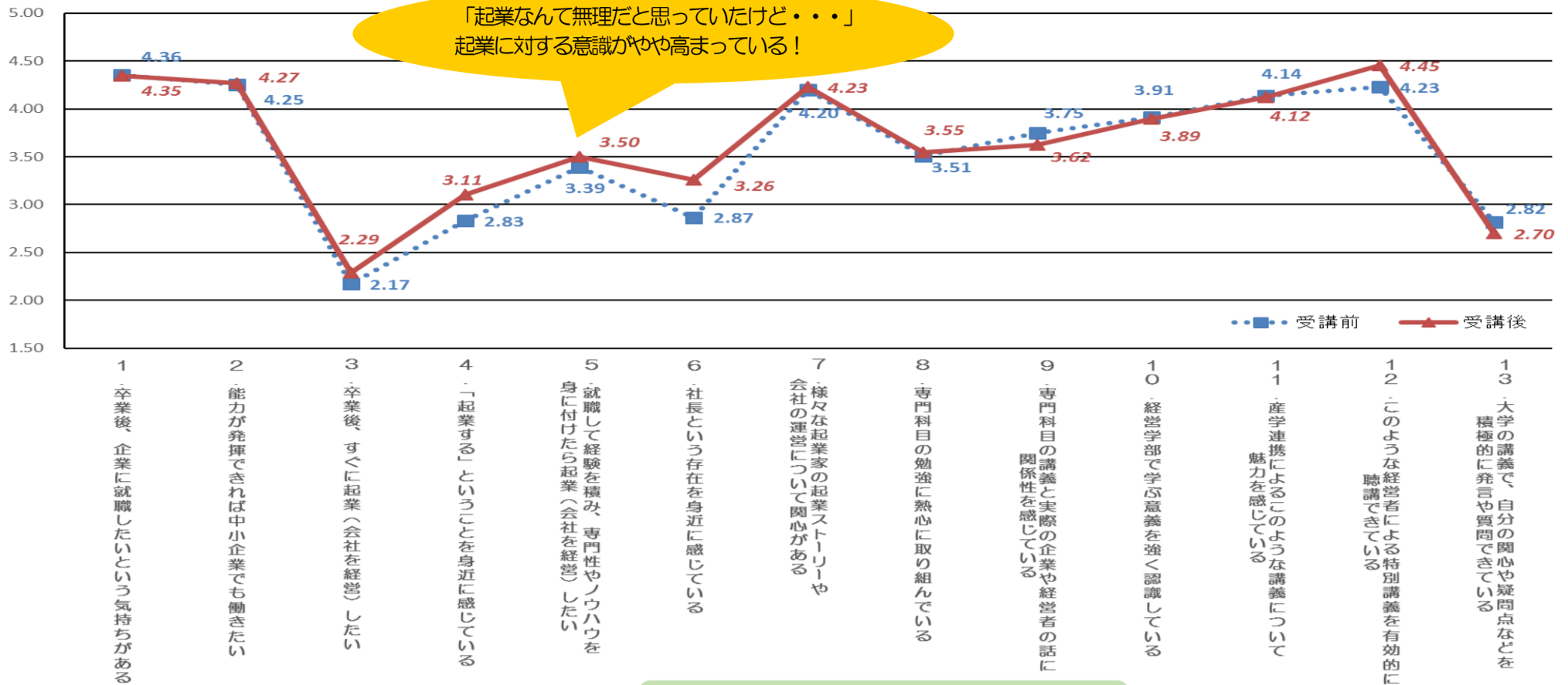
本年度最後の特別講義は講義内試験の課題講座として、エイキュー・トラベル株式会社、代表取締役、八十島亜由子氏をお招きしました。エイキュー・トラベル株式会社は、2011年に女性スタッフが運営する旅行会社として創業しました。情報化社会の発達により、個人でも旅の情報を手に入れられる時代にはなりましたが、エイキュー・トラベルでは経験によって培った生の情報によって、旅のコンシェルジュとしてお客様一人一人のきめ細かなニーズに対応し、心のこもったサービスを提供しています。「マレーシア移住体験ツアー」や「遺言書作成ツアー」など、画期的な企画旅行は同社の目玉事業であり、多くのメディアにも取り上げられています。学生からの「ユニークな企画旅行商品など、大手に模倣されてしまうと大変では?」といった質問に対し、「類似商品も出てくると思うけれど、私ほどのサービスは絶対に他社には提供できないという自信がある。」と語る八十島社長。成功の秘訣は「さぼらないこと。一生懸命がむしろに頑張っていれば、必ず運が回ってくるものだ!」と学生たちにエールを送って下さいました。



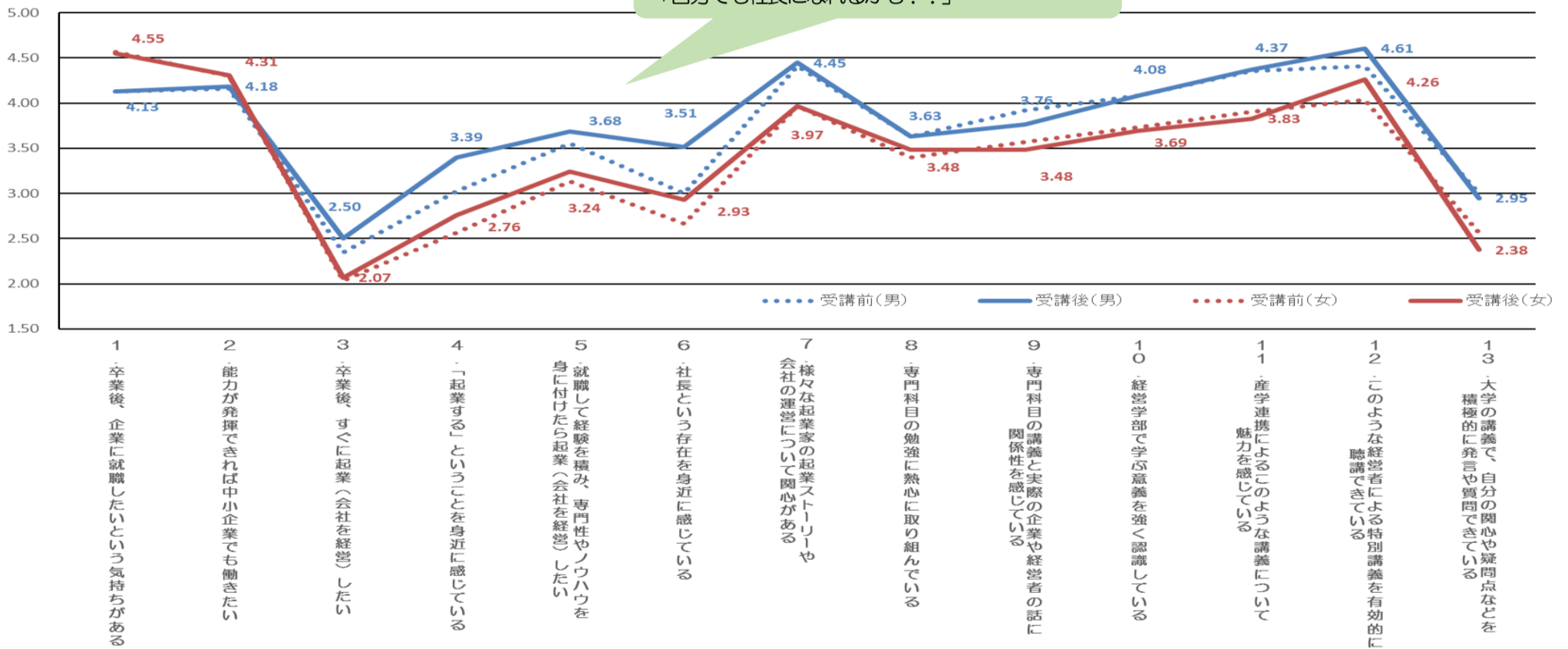
II. 履修者の起業意識、学習意欲の推移

下記のグラフは、本講座の受講前・受講後の2回にわたって行われた全てのアンケートに回答した68名の履修学生の起業意識、学習意欲の平均値の推移をグラフ化したものです。
※すべての質問に対して「5.そう思う」「4.ややそう思う」「3.どちらともいえない」「2.あまりそう思わない」「1.そう思わない」の5点尺度で回答したものを集計してあります。

(1) 全体の平均値の推移ー (有効回答: 68名)



(2) 男女別の平均値の推移ー (有効回答: 男 38名、女 30名)



(3) 特徴ごとに見る起業意欲の差異ー (有効回答 全体: 68名、起業を意識している学生: 9名、保護者等に起業家や経営者がいる学生: 24名)

